



『みんなの中で自分のよさを生かせる子を育てる』

⇒ 一人一人の子どもを育て、その子らしさを生かせる学校



《 こんなことを大切なめあてにして汗を流せる方々、是非力をお貸しください。 》

こどもたちの育ちにとっての「基礎・基本」とは、**その子とその子らしく生きていくことのできる力**を育てることです。

これは、言い換えれば「**みんなの中で自分らしく生きていくことのできる力**」です。

こう考えると、『心を育て、行動の仕方や人とのかかわり方を教えること』と、『学ぶ力、学習の基礎・基本となる力を培うこと』その両方が満たされ育まれて、初めて見も心も豊かに育つのです。

教えるべき事をきちんと教え、十分に力をつけて、その上で初めて認め託し、任せる。昔の言葉にある「**やって見せ、言ってみせて、させてみて、誉めてやらねば子らは育たず**」のように、手間ひまかけて育てることが、今大事です。

また、おしえるにあたっては、人とひでの最低限の規範意識を培うことの重要性を共通目標とし、「**あぶないことはしない。人にめいわくをかけない。きまりを守る。**」などのごく当たり前の規範意識の育成から、理屈ではなく「**やっちはならぬ、やらねばならぬ、ならぬものはならぬものです。**」という立場ですべての児童が安心して過ごせる学校づくりを進めたいと思います。

あらためて、今目の前にいる『子ども』を見つめなおし、次のような視点で努力したいと思います。

【 指導の方針 】

徹底して **教える** ことから
⇒ **認め・託す (委ねる)** へ

(1) 豊かな関わりの中で心を育てる。

(人との関わり・自然との関わり⇒社会性・道徳性の育成)

◎ やってよいこと悪いこと、やらなければいけないことなど、社会生活の中で身に付けるべきことは、当たり前ができるように丁寧に根気よく教え、身に付けさせる。

(→ならぬものはならぬものです)

(2) 聞く・話す・努力し励む等の「学ぶ力」の基礎となる姿勢・態度を育てる。(自ら学ぶ資質)

◎ 具体的な体験を通して意欲を育てるとともに、聞く・話す・我慢して努力する力を培う。

(3) 学習の基礎となる内容を徹底して教え、習熟を図り、自ら学ぶ力の基礎を固める。

◎ 指導方法の工夫改善、少人数指導の充実

(4) 共感的理解を進め、学級内の人間的な関わりを重視し、安心感・やる気を育てる。

◎ 日常的に、学級内での認め合いや励ましあい場を重視し、個のよさを認め育てる。

※ 教職員・保護者の皆さん・地域の方々、いいかえれば学校、家庭、地域の協力で子ども達の育つ土壌が培われます。



このような考え方で教育活動を更に充実させたいと考えます。共感くださる先生、保護者、地域、多くの方々のご協力、お申し出をお待ちいたしております。

組織の力が、特に大切なとき、心をつにして子どもたちを育ててくださる多くの皆様、子ども達のために一緒に汗を流しませんか？

【一人一人の子どもを育て、その子らしさを生かせる学校創いのために】



◎日常的な取り組み：

◇ 心を育てる・・・社会性・道徳性・楽しい学級、楽しい学校

◇ 学ぶ力を育てる・・・学ぶ姿勢・態度から、学ぶ喜び、できる楽しさへ



組織的教育力の強化



◎特色ある教育活動：

「やりたいことを見つけよう『桃五わくわくランド！』」

～「じっけん・かんさつ桃五不思議博物館」実感・体験プログラム-2～



すこやかに

かしこく



そのために・・・

「一人一人の子どもをみんなで見とり

そのよさを生かし伸ばすことのできる、

支援体制の整った学校作り

(全児童対応型ケース会議による迅速対応)を・・・」

めざしています。

お力添えくださる方を

おまちしています・・・。